



6月園だより

ホームページ <https://www.aen.arakawa.tokyo.jp/minamisenju2/index.html>



社会を生き抜く力の基盤づくり

園長 立石 晃子

木々の緑が濃くなり、初夏を感じられるようになりました。

5月は保護者に参加していただく園行事がたくさんありました。年少組では5月12日(金)に種団子づくりをしました。保護者サークル「グリーンクラブ」の方にリードしていただきながら、花の種と肥料を泥団子の中に入れ、プランターの土に埋めました。5月17日(火)年中・年長組親子は飛鳥山公園遠足、5月18日(水)年少組親子は汐入公園遠足に出掛け、初夏の自然に触れながら楽しく体を動かしてきました。5月20日(土)は、荒川区スポーツ推進課・スポーツ推進員のご協力を得て、親子でポッチャ体験をしました。だんだんとジャックボール近くに投げられるようになり、上達スピードに驚きました。



国立青少年教育振興機構「子供の頃の体験がはぐくむ力とその成果に関する調査研究」[結果の概要](改訂版)(平成29年5月24日改訂)には、「子供の頃、家族の愛情・絆を基盤に、遊びに熱中するなど様々な

体験をした人ほど、自己肯定感が高く、へこたれない大人になる。」と報告されています。主な調査結果は以下のようにまとめられています。

結果 「家族行事」(家庭)、「友だちとの外遊び」(地域)、「委員会活動・部活動」(学校)を多くしていた人ほど、社会を生き抜く資質・能力(「意欲」「コミュニケーション能力」「自己肯定感」「へこたれない力」)が高い。

結果 「お手伝いや家族行事といった体験が多く、家族との愛情や絆を強く感じていた人」や「外遊びを多くし、遊びに熱中していた人」ほど、社会を生き抜く資質・能力が高い。

家庭から離れ社会でも安心してものごと熱中できるようになるためには、上記に述べられているとおり、「家族との愛情・絆」が基盤となります。そのために園では、「親子で園行事に参加する機会づくり」に加えて、「親子で楽しく満足感を味わえる活動内容」を計画・実施し、家族との愛情・絆を深める支援につなげられるようにしています。保護者の方にはぜひ来園し、お子様と一緒に楽しんでいただきたいと思います。地域に向けては未就園児の会「にこにこタイム」が始まりました。月に1回親子で幼稚園に遊びに来ていただくと嬉しいです。

楽しいこといっぱい！子どもたちの園生活

< 3 歳もも組 >

待ちに待ったお弁当給食！みんなで食べると、おいしいね！

もも組のみんなが楽しみにしていたお弁当が始まりました。お弁当給食の前に行う準備の方法（排泄、リュックの準備、手洗い、うがい）もだんだんと分かってきて、自分でやってみようとする姿が多くなってきました。「先生、ご飯まだ？」と、お弁当給食の時間を楽しみにしている声が聞こえています。「もも組さん、いただきます」とみんなで一緒にいただきますを行い、一緒に食べることを喜んでいきます。保育時間が長くなり、降園前の集まりでは眠たそうにしながらも、担任の話聞く姿が見られています。頑張っている姿を見て、成長を感じています。6月にはプール遊びが始まります。天気の良い日には、水の冷たさや気持ちよさに触れながら、プール遊びを楽しみます。「水遊びって楽しいな」という気持ちになれるように援助していきます。水着の着脱の練習もご家庭と幼稚園で行いますので、ご協力お願いします。

< 4 歳たんぼ組 >

「みんなで一緒」が楽しくなってきたー！ もっとやろう！もう一回！

自分のしたい遊びを存分に楽しみ、その中で友達と一緒にだともっと楽しくなることが分かってきた子供たち。好きな遊びを楽しむ時間はもちろん、みんなでする活動も楽しくなってきました。「お助け椅子取りゲーム」では、椅子に座れなかったお友達を「ここ、いいよー！」と膝にのせて助けてあげることが楽しくて繰り返し楽しんだり、フープを使って引っ越しゲームをすると「一緒の家にしよう」と自然に誘い合って2～3人でフープに入ったり、2人組をつくって踊ったり...友達とみんなで活動するからこそ楽しさが膨らむということが分かって、担任の予想をはるかに超える面白いアイデアや動きが生まれています。

6月は室内で過ごすことも多くなってくると思いますので、ごっこ遊びを膨らませたり、みんなで一緒に体を動かして発散したりしながら、楽しいことをさらに見つけていきます。

< 5 歳ばら組 >

なんでだろう？ どうしたらいいかな？ 考えたり試したり、発見がたくさん！

ばら組で育てる野菜について、どの野菜を育てるか、今植えて育つのか、みんなで調べたり相談したりして決めました。いくつかの苗は地域の生花店に買いに行き、折れないように大事に持ち帰って植えました。毎日世話をしながら、気付いたことを伝え合い学級みんなで「畑の発見」として共有しています。特に気になっているのは、絵本で見た「ピーマン」と「パプリカ」。花を咲かせ実を付けた今も違いはあまり分かりません。いつ、どんなところに違いがでてくるのか、生長を楽しみに見守っている子供たちです。好きな遊びでは、土曜参観の日に親子で楽しんだボッチャが流行中！ 審判が持っていたパドルやコンパスといった道具を自分たちなりに作り、チームに分かれ競い合っていて楽しんでいます。どんどん上達し、毎日名勝負を繰り返しています。

雨が多くなる6月、室内での安全な過ごし方を自分たちで考えながら、鬼ごっや巧技台などで体を動かしたり、晴れた日にはプールで自分なりの目当てをもって楽しんでいきます。